

1班参加者(鶴見、清水、花木、北口、川内、斉藤)

テーマ

今の若葉台社協はどうあるべきか (地域のニーズに合わせられるような社協)

- ・ 一つのボランティアグループだけでは要望に答えられない。
 日常に密着した困ったことを救う為には...社協の役目
- ・ いろいろなボランティアグループや個人ボランティアを掘り起こして、それを結びつける役目。
- ・ 社協をもっと知ってもらう必要がある。 どうすれば良いか。
- ・ 支援したい人と支援されたい人を結びつけるのが社協の役目。
 (何が出来るか 生活技術グループ等)

港南区の例

困った時 港南区の社協会長に頼んだら近所の主婦達が応援して頼みになった。

- ・ 人材銀行を作る (人材マップ等)
- ・ ボランティア情報・組織・システムを社協がもっている事が必要。
 この為 単位自治会の理事が人材発掘、問題等を吸い上げていく(身近な立場で説明し説得する)
- ・ 高齢者交流会 一部の老人会の人だけでよいのか。老人会に移管してはどうか。
- ・ 一人ぐらし定期訪問事業 行政委嘱者に移管。各自治会の協力と連携。
- ・ ショートステイの出来るような場所・設備・人材の確保(子育て一時預りなども含めて)
- ・ 社協としてN.P.O.の取得を考えてみては (ノコノコの問題などがある)

第2グループ(松本、鈴木、白岩、長谷川、宮川)

現状の問題点と今後のあり方

- ・ 積立金の使い方を送球に検討
- ・ 賛助会費の具体的な使い道(質問を受けて)
- ・ 任期1年で変わる理事
- ・ (任期1年では行事消化で終わってしまう)
- ・ 中学生の福祉意識の向上(孫子老の日の効用)
- ・ 専門性あるボランティアの育成
- ・ 社協の組織のあり方
(専任理事を置きたい)
- ・ 再度の規約の改定の必要性
- ・ 行事の改革
 1. 若葉台の高齢者、障害者を小旅行へ
 2. 住民(高齢者、障害者を含む)とのコミュニケーション作りのためのバスハイク
 3. 高齢者交流会、孫子老の日のあり方
- ・ 社協として高齢者事業(種々あり)の1つにイベントがあるという考え方
- ・ 若葉台内巡回バスの購入
- ・ 高齢者の現状を把握した、それに添った事業であるべき
- ・ 社協、民児協、連合自治会等の各組織が更に連携することの必要性
- ・ 近隣(隣り組)と階段委員との係り方
- ・ (高齢者世帯の把握と社協との係り)
- ・ 1人暮らしの増加に社協として どう対応していくか
- ・ 災害時 弱者への対応のあり方 安否確認

子育てに関して

- ・ 子育てなら若葉台といえる街づくり
- ・ 学校統合が身近になっている今
連合自治会、老人会、社協、自治会等 各組織との連携による 通学路の安全確保の
必要性 (通学距離が長くなることによる)

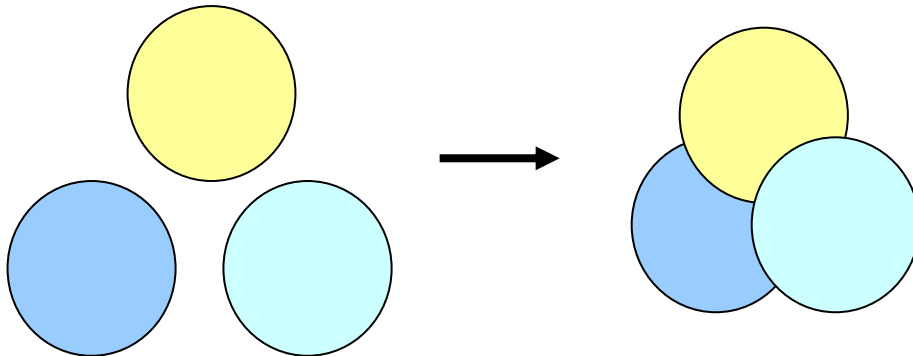
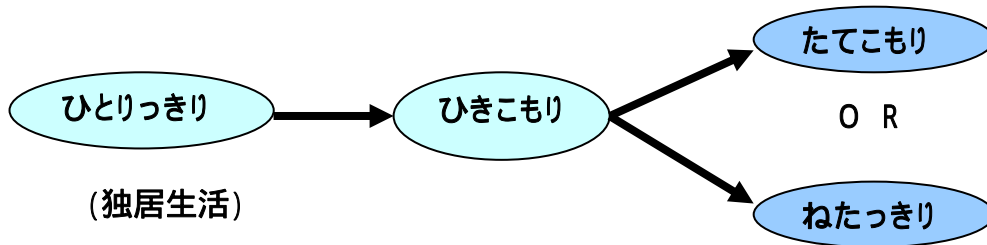
- ・ 社協・理事会の構成員は？（会則に明記ナシ）
- ・ 若葉台社協の立場は？ あくまでも民間団体で協議会である。他地区社協と成り立ちが違う？
- ・ 若葉台以外の地区社協活動はどうしているのか？ その情報がない。
（若葉台、よくやっている！ 本当なの？）
- ・ 若葉台に福祉活動グループが多くあり、資金援助をしているが それも協議会なのか？ 会費の一部が各グループの活動支援になっているが それがよく見えない。
（住民から文句言われる）
- ・ ケアプラは行政が作ったが、業務委託業者を募り あだちホーム創生会が受けた。
（所長以下の職員は創生会職員である）
家主が行政、店子は行政に意図を合わせた創生会
- ・ 地区センターは行政の出先機関……H17年度より民営化
家主は住宅公社、店子は行政(市)
- ・ 社協活動拠点をケアプラ・地区センターに計画すると その相手はそれぞれ 行政・住宅公社 / 行政となる。
- ・ 孫子老の日は 何故 川井地区まで手を広げているの？
若葉台だけで出来ないのか？

開催の目的はうなづける。 主体を周りの特老から若葉台中心に移す努力が必要。

< 例えば 若葉台の住民が座る席を もっと設置 >

- ・ 高齢者交流会は老人会だけの会合になっているが 本当にそれでよいのか？
社協主催(共催)であれば、全高齢者を対象にしないと今のままではマズイ
（社協がやるなら全高齢者の老人会入会を推進すべき）
- ・ 老人会の言葉は差別言葉ではないか？
- ・ 高齢者交流会、社協が手伝っているが理事も高齢者がほとんど。
実際には まつりの会、協力員を引っ張り出している。このままでは理事をやる人いなくなる。
- ・ チャリティバザーは社協の資金かせぎとしてやるが、福祉活動しているのか？
- ・ 若葉台では「社協」が理解されていない反面、福祉の「社協」という言葉に群がる力はあるようだ。 < 例えば 社協の名前貸しの要請、多々あり >
- ・ 「いつも通りやります」とは？
各イベント内容・やり方が よく判らないまま任期が終る。
“習うより慣れる”が社協の活動
イベント手伝いは慣れた者を集める傾向
- ・ 高齢者交流会を300人で絞り込んでいるのはオカシイ！
全員を集められる交流会が出来ないか？ < 例えば グランド >
- ・ 朝 目覚めると不安でしょうがない……という人が独居老人に多いのでは？
そのような人を対象にしたサポート活動は？

- ・ 障害者ではなく、健常者相手の福祉？活動・イベントも必要ではないか？
- ・ 高層建物ならではの 目の届かない独居高齢者への対応・イベント
(過去の歴史に 高齢者が高層に住んだ事例 希少)
 < 横の長屋は経験したが、縦の長屋は未経験 >
 若葉台のように単位面積あたりの人口密度が高い地区は他に類を見ない。
 縦の長屋の福祉は若葉台が初めて？
 日常の階段問題、葬儀問題(我家で葬儀ができない)



G.No.4 (堀部・田中・大家・善本・高相・小村)

1. 賛助会費 : 現在積立金 約3,500千円

Q : 目的と計画は?

A : 例を挙げて計画を出せば未だ未だ不足だ。

例として、拠点整備・専門委員の配置 現在 連合会館 年10万円

拠点整備は、学校統廃合 + 予防介護拠点との併用

2. 孫子老の日のあり方? どうするの…

現状 小中学校の福祉教育(体験学習)

小中学校 生徒の減少

外部特養施設との連携 > 地域住民

長谷川案: 地域障害者(精・身、高~年少)対象でボランティアとの小旅行及び地域巡回バス

No.4: ケアプラデイサービス参考、外食、買物ツアー

ポッチャ大会の共催(輪投げ、カラオケ等)

当初の高齢者交流会: 栗ひろい、いも煮会

日帰り温泉・食事ツアー…出来るか?

3. 社協って な~に? 地域福祉の増進?

(高齢者、障害者、子育て、健康・生きがい)

Q : どうあるべきかな … ノーマライゼーション. コーディネイト

A : 見える活動: 議事録の作成と公開。

(社協だより、HP、理事から母体への伝達)

A : 理事会と(ボランティア G+ 理事)全体会の交互開催による情報交換

…現状は報告会?

A : ボランティア感謝デーの開催(交流会・ボランティア受付)

A : 理事研修は年2回。

総会后 議案書を基に年間実施計画段階 + 年度末の反省による次年度計画。

4. 子育て支援は社協の事業では?

多世代 地域交流会

Q : “みんなあつまれ”だけが事業か? (5月・共催分のみ)

「子育て支え合い連絡会」をどのように機能し活動させるの?

A : 検討が必要…